



2021年グローバルファンド成果報告書

新型コロナがエイズ、結核、マラリア対策に大打撃

2021年9月8日

ジュネーブー本日発表されたグローバルファンドの新しい成果報告書によると、2020年新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、エイズ、結核、マラリアとの闘いに甚大な影響を与え、グローバルファンド発足以来、初めて三大感染症対策の主な成果が下降に転じました。

グローバルファンドのピーター・サンズ事務局長は「今年の成果報告書は、設立20周年を記念して、この20年間エイズ、結核、マラリアとの闘いの進展を可能にした比類ない勇気とレジリエンスの物語に焦点をあてたいと考えていました」と述べています。「しかし2020年の数字は、報告書の焦点を変えざるを得ませんでした。数字は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大の初期に恐れていたことが現実となったことを裏付けたものです」

この報告書は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックが、世界中の結核対策に大きな打撃を与えたことを明らかにしています。2020年、前年（2019年）と比較して、グローバルファンドの支援対象国における薬剤耐性結核治療を受けた人の数は19%減少し、超多剤耐性結核のための治療を受けた人の数は37%減と、さらに大きく落ち込みました。結核治療と併せて抗レトロウイルス治療を受けているHIV陽性の結核患者数は16%減少しました。

また報告書は、すでに不均衡な影響を受けている脆弱なキーポピュレーション[訳注:エイズ対策を進めるうえで鍵となる集団]に対するHIVの検査と感染予防サービスが、大幅に減少したことを明らかにしています。2019年と比べると、HIV感染予防プログラムやサービスの利用者は11%、予防サービスを利用した若者は12%減少しました。HIVの母子感染を防ぐ予防的治療を受けた妊婦数は4.5%減少しました。HIV検査の件数も22%減少し、大半の国でHIV治療の開始が遅れました。

新型コロナウイルス感染症によるマラリア対策への影響は、結核やエイズ対策ほど甚しくはないようです。適応策やコミュニティ・ヘルスワーカーの勤勉さとイノベーションにより、予防活動は安定または2019年と比べて増加しました。蚊帳の配布数は17%増加し、室内残留性噴

霧を行った世帯およびその他建物の数は3%増加しました。予防的治療を受けた妊婦は1150万人でした。しかしマラリアが疑われた患者の検査数は4.3%減少し、マラリア対策の進歩も停滞しました。

グローバルファンドはパートナーとの協働により、新型コロナウイルス感染症対策を迅速かつ断固として対応し、さらなる悪化を防ぐことができました。2020年、エイズ、結核、マラリアからの救命のためのプログラムの継続と保健システムの強化のために42億米ドルを供与し、新型コロナ対策のために9億8000万米ドルの追加資金を承認しました。2021年8月現在、エイズ、結核、マラリア対策の適応、重要な検査、治療や医療器具の調達、最前線で働く医療従事者の保護、脆弱な保健システムの緊急強化のために、100カ国以上に合計33億米ドルを支援しています。これらの支援に加えて、ドナー、プログラム実施国の政府、コミュニティや保健パートナーの迅速な行動と資金供与により、エイズ、結核、マラリアに対する新型コロナウイルス感染症の影響を緩和するとともに、三大感染症との闘いの進展を実現することができました。

グローバルファンドの支援対象国における2020年の主な成果は以下の通り：

- 2190万人が抗レトロウイルス治療を受け、新型コロナにかかわらず、前年(2019年)比で8.8%増加しました。
- 870万人がHIV感染予防サービスを受けました。
- 470万人が結核治療を受けました。
- 結核菌に曝された19万4000人の子どもが予防的治療を受けました。
- 1億8800万張の蚊帳を家庭に配布し、新型コロナにかかわらず、前年(2019年)比で17%増加しました。

「グローバルファンドのパートナーシップは命を救い続けています」とサンズ事務局長は述べています。「新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる非常事態に直面するなかで、我々のパートナーシップは柔軟性と決意を発揮し、世界中の何百万人に医薬品や保健医療物資、サービスを届けています。支援対象国はエイズ、結核、マラリア対策の中でつくられた検査ラボ、疾病サーベイランス、コミュニティネットワーク、サプライチェーン、そして研修を受けた医療従事者を活用することで、新型コロナウイルス感染症に迅速に対応することができました」

グローバルファンドのパートナーシップは2002年の設立から2020年末までに、4400万の命を救いました。支援対象国におけるエイズ、結核、マラリアによる死亡者数は46%¹減少しています。この成果は、プログラム実施国の政府、国際機関、二国間援助政府、市民社会組織、三疾病の影響を受けた人々、および民間セクターなど、グローバルファンドのパートナーシップを構成する幅広いパートナーのたゆまない努力の結果です。

「新型コロナウイルス感染症による被害は甚大ですが、このパンデミックは、我々に、より良く、より公平で、より健康な世界を築くための機会も与えてくれています」とサンズ事務局長は述べています。「我々はパートナーと協働で、エイズ、結核、マラリアの軌道を変えてきました。今後も続けていく決意です。我々がグローバル、国、地域のレベルで、革新的な協働を続ければ、三大感染症を終息させ、新型コロナウイルス感染を克服し、パンデミックへの準備と対応のためのより強固な基盤を築くことができます」

###

グローバルファンドはエイズ、結核、マラリアを終息し、すべての人に健康かつ安全な、より公平な未来を築くための世界的な活動です。年間40億ドルの資金を調達し、100カ国以上の低・中所得国における三大感染症との闘いと、感染症を助長する不正に挑戦し、保健システムの強化を支援しています。世界のリーダー、コミュニティ、市民社会組織、医療従事者、民間セクターと協働で、最も効果的な方策を見出し、世界規模で展開しています。2002年設立以来、4400万以上の命が救われました。

グローバルファンドの活動の詳細は www.theglobalfund.org をご覧ください。

ツイッターをフォロー <http://twitter.com/globalfund>

フェイスブックに参加 <http://www.facebook.com/theglobalfund>

Media Contacts

For media inquiries, please contact:

¹ HIV データは2020年末現在。マラリアと結核データは2019年末現在(発行時点で2020年データ未発表)。

Yebe Diallo

Tel.: +41 79 717 6930

Email: yebe.diallo@theglobalfund.org

Ibon Villeda Jaureguizar

Tel.: +41 79 292 5426

Email: ibon.villeda@theglobalfund.org

Benjamin Szlakmann

Tel.: +41 76 397 4403

Email: benjamin.szlakmann@theglobalfund.org